

水性ウレタン系ノンブリードシーリング材(可塑剤無配合)

水性ウレタンシール

使用方法

1

被着面を十分に清掃し、乾燥させてください。

2

チューブの場合

「Puプライマー」を被着面に均一に塗布してください。

2

カートの場合

「Puプライマー」を被着面に均一に塗布してください。
ノズルを施工箇所にあわせて切り、ノズル内のアルミ膜を大きく破ってガンにセットしてください。

3

充てん後の表面乾燥が早いため、手早く表面仕上げを行ってください。

4

マスキングテープを使用する場合は、表面仕上げ後、速やかに取り除いてください。

5

充てん後、約1日間は雨や雪に流されないように注意してください。

6

吹付・塗装は「水性ウレタンシール」の硬化後に行ってください。
充てん後、3日間(夏期)～5日間(冬期)が目安です。

注意

- 「Puプライマー」を使用しないと、接着不良の原因になります。
- 硬化後、目ヤセしますので、表面は凹ませず、平らに仕上げてください。
硬化後重ね打ちすると、目ヤセが目立ちにくくなります。
- 「水性ウレタンシール」表面と内外壁材との塗料の吸込みの差によって、塗料の種類によっては「水性ウレタンシール」上の塗膜がテカって見えることがありますので、ご注意ください。
- 貯蔵有効期間は、未開封で1年間です。

品質特性

タックフリー	比重	加熱減量	押し出し性
30分(20℃)	1.4~1.5	15~18%	3.0秒
スランプ	最大強度 (ダンベル2号)	破断時伸び (500mm/min)	
0mm(50℃)	0.92N/mm ²	960%	

取扱い上の注意

- 皮膚に付着した場合は、水で洗い流してください。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い流してください。
- 誤って飲み込んだ場合は多量の水を飲ませて吐き出させ、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 使用後の容器の処理は産業廃棄物処理業者に依頼してください。
- 詳細な内容が必要な場合には、MSDSをご参照ください。

2010.10



関西パテ化工株式会社
<http://www.kansaipate.co.jp/>

本社 〒579-8003 東大阪市日下町3丁目7-36
東京支店 〒121-0813 東京都足立区竹の塚3丁目14-10
北九州営業所 〒803-0815 北九州市小倉北区原町1丁目9-3

TEL(072)982-2131(代) FAX(072)982-2135
TEL(03)3850-3191(代) FAX(03)3850-3193
TEL(093)571-7156(代) FAX(093)571-7159